



令和5年
2023

社長年頭挨拶



あけましておめでとうございます。

社員の皆さまにはご家族とともに輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

年末年始も昼夜問わずエネルギーの安定供給に務められた社員の皆さま、大変お疲れさまでした。心から感謝申し上げます。

これまで猛威を振るってきた新型コロナウィルスは第8波に至りました。昨年は感染対策をしっかり継続しながら、ライフスタイルの変化や働き方改革が進展し、ウィズコロナが定着してきた年だったように思います。

経済活動も少しずつ再開し、沖縄本土復帰50周年では様々なイベントなどが開催され、サッカーのワールドカップにちむどんどんしました。

当社においては、可倒式風力発電関連事業では「トンガへの義援金寄付」の贈呈や「海外出張」が可能となり、天然ガス供給事業では「緊急自動車の導入」「LNGローリー出荷累計6,000回達成」「中城村内ガス導管延長工事竣工」など着実に実績を積み重ね安定的な供給体制を整えてきました。また、「健康経営優良法人2022」の認定を取得し、社員の健康の保持・増進につながる取り組みの実践にも努めてきました。

私も昨年6月に就任後、社員の皆さまとの面談や業務を通して意見交換を行い、業務の状況や課題の把握などに努めて参りました。現場ではその場で解決しなければ前に進めない状況に直面することや中長期的な課題も様々ありますが、当社は若い社員が多く活気があって闊達な意見交換が行われ、自ら進んで課題解決や新規事業獲得などに取り組む姿勢を持っていることに嬉しく感じました。引き続き、柔軟な発想力や率先垂範の行動力を発揮していただきたいと思います。

今年は、ウクライナ情勢や為替の影響などによる資源高や物価高など先行きは予断を許さない状況が続くものと予想される一方で、行動制限の緩和などがさらに進み経済活動が活発になり、景気の持ち直しが期待できる年になりそうです。

今年の干支「癸卯（みずのと・う）」は、「これまでの努力が花開き、実り始めること」といった縁起の良さを表していると言われています。当社でもこれまでの努力が実り始め、卯の如くびよんびよんと飛躍する年になることを期待したいと思います。

「おきでんグループ中期経営計画 2025」にチャレンジしていくとともに、事業獲得へと種まきしてきたこれまでの努力が花開く年を目指しましょう。そして今年も無事故無災害となるよう安全最優先で業務に臨んでいただきたいと思います。

結びに、社員の皆さまご家族の皆さまが心身ともに健やかで、明るく希望に満ちた一年となりますことを祈念申し上げ年頭のご挨拶とさせていただきます。

代表取締役社長 **島袋 久哉**



本社屋前にて

謹賀新年



ファイナンス研修

〔技術営業部 ガス営業課〕ファイナンス研修(Daigas エナジー株式会社)

10月18日(火)、Daigas エナジー(株)主催の研修が沖縄電力(株)新本館2階講堂で開催され、当社からガス営業課の4名が参加しました。当該研修は毎年行われ、今年はファイナンスをテーマに開催されました。研修には当社の他に沖縄電力、(株)リライアンスエナジー沖縄から、総勢32名が参加しました。

今年の研修内容は、①ファイナンス概論、②決算簡易分析、③投資採算性評価、④ES(エネルギーサービス)提案方法の4つのテーマに分けて4時間にわたり行われました。基本的なファイナンス用語の説明から、お客さまの決算簡易分析の実践、ケーススタディでES提案手法を考えるなど盛りだくさんの内容で、テーマごとに活発な質疑応答がありました。

＜担当者のコメント＞

渡慶次 英輝さん

ファイナンスの基礎知識や具体的なES提案手法を学ぶことができました。特に、お客さまへESを提案する際に必要となる投資採算性分析は、具体的な手法を学ぶことができ、早速、業務に活用することができました。今後も、お客さまへ天然ガスの導入メリットをご説明する際には、自信を持って提案できるよう、研修で学んだことを活かしてまいります。



▲沖縄電力講堂でのファイナンス研修の様子

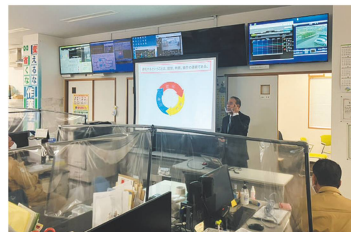
交通安全講習会

〔総務部 総務課〕交通安全について

12月21日(水)、全従業員の交通安全の重要性を再認識することを目的に、「大同火災海上保険(株)あんしん・あんぜん企画推進課 交通安全指導担当課長 照屋 勝則氏」を講師に招き、交通安全運転講習を行いました。

講習では、夜間の交通事故事例として、十字路での前進時や右折時などの事故発生時の動画を視聴し、ヘッドライトの操作方法について学びました。

本動画を通して、なぜ交通事故が起きるかを事故が起きる前まで巻き戻し、原因となる状況やポイントを解説して頂き、事故を未然に防ぐ方法や運転操作方法などが学べ、とても参考になる講習会でした。年末年始で運転の機会が増える中、改めて安全運転の意識が向上しました。



▲交通安全講習の様子

当社業務紹介

《第10回目》

〔技術営業部 電機課〕可倒式風車建設について

2019年6月末に竣工したトンガ王国向け可倒式風車設置工事は、瑕疵期間終了立会検査を2020年7月に予定していましたが、世界的に蔓延した新型コロナウイルス感染症の影響により現地渡航が制限され延期となっていました。2022年8月1日付でトンガ国境再開となったことを受け、8月中旬に現地へ渡航し、立会検査を実施しました。

＜担当者のコメント＞

宮平 樹さん(2022年8月出張)

初の海外ということもあり、言語や環境の違いを体験することができ、いい経験になりました。また、これまでの業務経験を活かして現地での補修を無事終えることができホッとしているのと同時に新たな知見も得られたので、今後の業務で発揮したいと思います。Malo!(トンガ語：ありがとう)

照屋 智也さん(2022年11月出張)

初の海外出張で戸惑うことがありましたが、現地の方と協力し無事1回目のワイヤー取替作業を終えることができました。ワイヤー取替時のコツ、注意事項などが勉強になりました。気候は沖縄と同じで過ごしやすく、現地の食べ物「イカロロ(ココナッツ味の魚スープ)」は、さっぱりとした味わいでおいしかったです。



▲宮平 樹さん(右)とトンガ電力公社社員



▲照屋 智也さん(左)とトンガ電力公社社員

編 / 集 / 後 / 記 /

◎深夜のサッカー日本代表の応援に一人でTVに熱中し、思わず大騒ぎ!! 妻も私の声に驚いて飛び起き、試合終了のホイッスル。ドーハの悲劇からドーハの歓喜への歴史的瞬間を、TVを通してではあるがリアルタイムで応援できたことは最高にうれしかった。今後、サッカー人口がなお一層広がり、さらにレベルアップすることを期待したい。

◎4年ぶりに県外旅行をした。屋の博多駅は、たくさんの人々が次の目的地へ足早に移動し活気があって驚いた。夜の博多駅は、煌びやかなイルミネーションを眺める人たちやジャズの演奏家に酔いしれる人たちに溢れ、思い思いの時間を過ごしていた。3年間の沈黙を破る時が来たと感じた。



1 【初荷式】

2023年LNG初荷式

2023年1月4日(水)、沖縄電力吉の浦火力発電所LNG出荷設備において、今年初のLNGを出荷しました。

2015年にガス供給事業を開始してから8年、タンクローリーによって輸送された天然ガスをご利用いただく事業者さまは、22社となりました。

今年も、りゅうせき、沖縄電力、PEC三社の相互協力環境に優しいクリーンなLNGの安定供給に努めます。



▲初荷式

3 【訓練】

令和4年度 沖縄電力(株)総合防災訓練参加

11月4日(金)、沖縄電力の総合防災訓練に参加しました。訓練は、地震により本島東海岸に津波が到達し、当社社屋が浸水し監視システムが使用不可になったという想定に基づき、西海岸にある沖縄電力本店に設置した当社LNGサテライトのバックアップ監視機能の起動と、初期監視員を担う沖縄電力担当者と連携し、監視手順を確認しました。

また、当社独自の訓練として、当社LNGサテライト施設の復旧操作訓練も併せて実施し、初期活動とともに災害復旧手順を確認しました。



▲総合防災訓練の様子

＜担当者のコメント＞西浜 宏治さん

訓練では、2021年に導入した、LNGサテライトのバックアップ監視機能をガイダンスに従い、沖縄電力担当者さまに起動いただき、十分、運用が可能であることを確認できました。

また、本訓練を通じて、日頃の備えが重要であることを再確認できました。今後も、沖電グループをはじめ協力会社との連携強化を図っていきます。

5 【清掃活動】

地元および海岸清掃活動

10月16日(日)、中城村一斉清掃があり、泊区の清掃に参加しました。今回は、泊区民館周りや道路側にはみ出した草刈りを行いました。

また、11月19日(土)には、浦添市浦添西海岸での「美ら海おきでんアクション」清掃活動に参加しました。



▲草刈り作業風景



▲清掃活動後、区民の皆さまと



▲浦添西海岸清掃風景

2 【竣工】

中城村内ガス導管延長工事竣工

2015年に運用開始した中城村内ガス導管の延長工事(吉の浦火力発電所取引用メーター室～PEC構内既存ガス導管)が、2022年8月15日(月)に着工、11月30日(水)に無事竣工しました。現在、沖縄電力が建設中の「吉の浦一牧港ガス導管(仮称)」と完成後に連結することで、バックアップが可能となり、ガスの安定供給態勢の強化を図ることができます。



▲中城村内ガス導管延長工事の様子

＜担当者のコメント＞小橋川 兼児さん

本工事は140m程度のガス導管延長工事でしたが、水路の横断方法の検討に時間を要し、施工難易度・維持管理の容易さ・津波災害時の耐用性・経済性などを総合的に勘案し施工方法の選定や手続き関係、試掘調査などを行い着工に至るまで約半年かかりました。

本工事に関わっていただきました中城村、沖縄電力をはじめ工事関係者さまのご協力もあり無事に工事を終えることができました。

4 【社内イベント】

PECウォーキングイベント

9月1日(木)から10月31日(月)の61日間の日程で、社員の健康増進を目的に「PECウォーキングイベント」を開催しました。

平日歩数を3,300歩、休日歩数を8,000歩とし、目標歩数を30万歩としました。日々の歩数は、スマートフォンのアプリなどを利用し計測・記録しました。歩数記録の上位1位から5位および目標達成者へ認定証を発行し、表彰しました。

1位 橋本課長のコメント

一人暮らしゆえの時間のゆとりを活用し、一步一步、積み重ねた結果、前回1位の大城さんを抜き、大変名誉ある PEC新ウォーキング王に就くことができました。ただ残念ながら、飲み食いでは体重は変わらず、中城村マラソンで減量に再チャレンジします。



▲表彰 左より1位橋本課長、4位島袋社長

表彰一覧

1位: 橋本 淳広	412,399 歩
2位: 大城 竜治	399,929 歩
3位: 喜納 克文	369,724 歩
4位: 島袋 久哉	344,777 歩
5位: 神里 叶夢	343,157 歩

目標歩数達成賞

津波古 利章	325,157 歩
--------	-----------

6 【社内イベント】

バーベキュー交流会

社員間のコミュニケーションの活性化を目的に、10月28日(金)に、当社駐車場にて「バーベキュー交流会」を開催しました。役職員のコミュニケーションが図られました。



▲バーベキュー交流会風景

2022年プログレッシブエナジー 5大ニュース

1 島袋新社長就任 新体制スタート

6月24日(金)に当社第21回定時株主総会を開催し、2021年度決算および新取締役選任が承認されるとともに、総会後の取締役会において新役員体制および業務分担が決定されました。

これにより島袋新社長体制がスタートしました。



▲新体制集合写真

2 中城村内ガス導管延長工事竣工

8月15日(月)に着工した中城村内ガス導管延長工事が、11月30日(水)に竣工しました。今後とも安定供給に努めてまいります。



▲中城村内ガス導管延長工事の様子

3 緊急自動車導入

7月13日(水)に、緊急自動車を導入しました。緊急自動車の導入により、急なガス漏れや災害時等の非常時に迅速に駆け付け、修繕および2次災害の防止などの速やかな対応が可能となりました。

緊急自動車は緊急走行時に赤信号を通過できるなど様々な道路交通法の規制緩和を受けますが、緊急走行は危険を伴うため、より一層気を引き締めて安全運転を心がけます。



▲左より大演課長代理、島袋社長、神元常務、安田さん

4 りゅうせきさまへ感謝状贈呈 (LNGタンクローリー出荷5,000回達成)

2015年のLNGローリー初出荷から、2月18日(金)に累計出荷回数5,000回を無事故、無災害で達成したことを記念して、2月25日(金)に、当社より感謝状と記念品を贈呈しました。達成当日には現地にて記念撮影を行いました。



▲5,000回を記念して



▲感謝状贈呈の様子

5 トンガ王国へ義援金を寄付

1月15日(土)に発生したトンガ沖海底火山および津波災害により被災したトンガ王国の復興支援を目的に、当社は沖縄電力ならびに沖電グループ会社の(株)沖縄エネテックと共に、2月8日(火)、トンガ政府へ義援金の贈呈式を催しました。

当社は2019年にODA(政府開発援助)を活用し、同国向けに可倒式風車5基を納入しています。



▲ 沖電東京支社にて贈呈式出席者(右より)トンガ王国デヴィタ・スカ・マンガシ大使、沖電本永社長、当社湊前社長